

放課後等デイサービス「キッズすてっぷ かいぜ」評価結果

改善内容・改善目標

公表:令和1年11月30日

	チェック項目	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか 活動の用途や児童の状況によって、スペースを区切る個室を使用するなどの工夫をしている
	2	職員の配置数は適切であるか 基準を満たす配置を行っている
	3	事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか 事業所前はバリアフリーとしている。事業所内ではプレイルームと個室との間に段差あり。注意を促している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか 実施している。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか 保護者様向けのアンケート調査を実施し業務改善に努めている。
	6	この自己評価結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか 事業所のホームページにより結果を公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 第三者による外部評価、また社内評価を行う体制がある。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか 社内研修や外部研修に参加する機会を設けている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 支援計画の見直しに伴い保護者の方に対しては児童の状況や今後の課題・ニーズについての聞き取りを行っている。職員間で情報共有しながら計画を立案している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか 活用を検討中。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか 利用者の状況を把握するため話し合う機会を設けている。

適切な支援提供	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	個々の指導計画に基づきながら、状況に適して段階付を行い、様々な活動を提供を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	個別に課題を設定するよう努めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	個別性と状況に応じた活動を取り入れるようにしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	実施している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	実施している。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	実施している。
	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	実施している。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	実施している。
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	実施している。	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	医療的ケアが必要な児童の利用はなし。服薬に関しては、保護者より依頼書をもらい対応している。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	実施している。
	24	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	必要に応じ情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けいるか	実施している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	今後検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	定例会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳や送り時の口頭での伝達を行うよう努めており、1カ月の活動の様子をまとめた書類を渡している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	日々の状況報告の際に支援の方法などの情報提供に努めていく。
	保護者へ	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	必要に応じ対応している。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母の会、保護者会などを開催する機会は設けていませんが親子レクリエーションなどの行事を計画し交流できる機会を設けるようにしている。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情に対しては迅速に対応できるよう心がけている。

の 説 明 責 任 等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	事業所のブログや写真お便りで活動概要の報告を行っていく。また行事に関しては都度お便りや電話連絡、ラインを利用して発信している。
	35	個人情報に十分配慮しているか	個人情報保護についての意識付けを継続していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	口頭での伝達に難がある方に対しては、視覚的に情報伝達が行える方法を取り入れるなどの配慮を行っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	今後検討していく。
	非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	実施していく。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	社内及び外部機関の研修に参加する機会を設けている。
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか	現在身体拘束を行なう児童の利用はなし。
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	保護者様への聞き取りを行い対応している。
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハットはファイリングして閲覧できるようにしている。発生時は職員間で情報共有し改善検討を行うようにしている。